

# Ideal of Service! 2006▶2007

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

## CCRC

発行 千歳セントラルロータリークラブ  
会長 齊藤博司 / 副会長 和田次彦 / 幹事 井上英幸  
会報編集責任者 武田伸也  
千歳市本町 4-4 ホテル日航千歳 0123-26-5788



### 会長挨拶

会長 齊藤 博司

円卓の騎士のアーサー王ならぬ山口市長をお迎えして、長方形の卓の騎士団による千歳市民と、千歳市政について大いに論を展開していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 幹事報告

副SAA 深見 浩(代理)

- 佐呂間町竜巻被害救援募金のお願いです。痛ましい災害にお見舞い申し上げ、毎週救援募金をポケットクリーニングという形で行いましょう。
- 「韓流ファンの集い」へのごあんない。

### 委員会報告

親睦活動委員会 委員長 白木 松敏

恒例のクリスマス家族会 12月19日に開催します。参加者名簿を早めに提出願います。またビンゴゲームなどに使う景品をお持ちください。

### ニコニコBOX

羽芝諒一会員: 11月の「税を考える週間」の一環で、税務署から納税道義の高揚に寄付する模範で表彰されました。

坂井治会員: ひまわり号を走らせる会 10周年。地域まちづくりネットワーク交流会では 80名の市民の出席。チケットのほうで協力ありがとうございました。

西野文雄会員: 「育った町を大事に思っ欲しいなあ」ユネスコ協会で絵画展『わたしの町の宝もの展』開催しております。表彰式が民報に掲載されました。

白木松敏会員: 11月1日に高橋ビル買収。入居率順調に80%が契約されました。

### 本日のプログラム

担当 プログラム委員会委員長 松坂 敏之  
「市民協働とまちづくり」

今日は山口市長が思う「市民協働のまちづくり」についてお話していただきます。その後質問タイムをとりたかったのですが、時間の関係から内容をメモしていただくと、わたしが間違いなく秘

書課のほうにお届けいたします。いつもと形式を変えてましてこの字の格好にしてみました。身近に市長さんのお話が聞けるということもいいのかと思います。よろしくお願いたします。

千歳市 市長 山口 幸太郎 様

わたしは市議会議員、道議会議員、と経て20年間やってきて、この間わたしの考え方、行動を支えてきたのはロータリークラブのときの奉仕活動、その前のJC活動、そのときに培われたものが延長線上にあるといっても過言ではありません。社会に自分がどうかかわっていくのか、社会のために何ができるのかということが基本的な思いです。私は民間から行政に入りましたので、その考え方を行政の中にどうマッチングさせていくか、総合行政ですので全てのことにかかわっていかねばならないわけです。公約で「市民協働」ということを言いましたが、行政的な言い回しで上からものを言うようで恐縮なのですが、企業活動や市民、そして団体役員の活動をまちづくりに生かしていこうということに尽きるわけです。まちを構成しているのは市民ですが、企業の立場、主婦の立場、団体の立場と、立場が違えばそれぞれに価値観が違います。それぞれの価値観をどう調整していくか、これが「市民協働」で一番難しく大切なところだと思います。

これまでもロータリークラブは職業奉仕を通じて貴重な時間やお金を費やして社会奉仕に頑張ってきました。また、私たちの市民生活、個人生活を支えている一番基本になるところに町内会活動があります。これは地縁的な結びつきで隣の方と考え方や価値観が違ってても共有しなければなりません。それに比較してコミュニティ活動というのは趣味、スポーツ、価値観が同じものが集まって活動するという機能的な空間的なコミュニティです。子ども会もあれば婦人会、ロータリーのような奉仕団体いろんな団体が千歳の中で営み続け、そのような総合力が千歳のまちの発展、アイデンティティにつながっています。いかにルール付けて行政の立場から「市民協働」という言葉を出して価値観を共有するかという取り組みを始めています。市民一人ひとりが課題を共有しあい、循環型社会を構築していかないと自分の生活、企業が圧迫されてしまいます。社会保障制度も依存から自立のかたちに変わり、国の生業、形は自立の制度が根底にあることをしっかりと理解していただくこと。もうひとつの財政健全化についてですが、これからの経済は、右肩上がり期待できない。税収も上がらない中で、10年持続可能な財政運営にしなければならない。おかげさまで19年の予算編成、なんとか健全化の見通しが立ったところです。当然ながら、市民の理解と協力で達

成しつつあり、ゴミの有料化、施設の有料化そして除雪の面でも協力していただいているおかげです。「自分達の町、自分達の税金なのだから友好に使おう」という発想に、少しでも結びついて欲しい。これが「市民協働のまちづくり」です。